

平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード

132902

あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業名

ぎょうぎ温泉管理運営事業

担当部局・課

市民部
共同会館

事業内容

浴場の管理・運営（平成18年度から直営）

事業開始(予定)年度

平成6年度

事業終了(予定)年度

—

この事業の
上位施策

これから5年間のまちづくりプラン

視点

支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現

項目

きめ細かな地域福祉の推進

施策

人権啓発センターの構築

⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。
行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。

事業の目的

浴場に集う住民のふれあい交流活動を推進し、市民の人権意識の高揚と温かい人間関係に支えられた心ふれあう地域社会の形成を図る。

予算費目
(複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。)

(款) 民生費
(項) 社会福祉費
(目) 同和対策事業費
(事項) ふれあい交流センター管理運営費

事業費等の概算

平成17年度(決算)

平成18年度(予算)

事業費

17,288千円

財源内訳

国・県補助金等

—

市債

—

その他(使用料等)

11,493千円

一般財源(市税等)

5,795千円

投入人員

0.30人

⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。
=担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)

人件費

2,570千円

⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。

経費合計

19,858千円

事業費

15,401千円

財源内訳

国・県補助金等

—

市債

—

その他(使用料等)

11,770千円

一般財源(市税等)

3,631千円

投入人員

0.10人

⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。
=担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)

人件費

857千円

⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。

経費合計

16,258千円

活動指標

指標名(単位)

入浴者数（人）

意味・算式等

年間入浴者数

計画と実績

年度

区分

H17年度

H18年度

計画値

46,728

40,920

実績値

41,203